

11月12日(土) 開催!

特別体験講座テーマ

『令和4年度

日本語教育能力検定試験について』

10月23日に「日本語教育能力試験」が実施されました。今回より、「必須の教育内容」(文化庁)に準じた出題範囲に移行されましたが、今年の問題は問題は例年と比べてどうだったのでしょうか。現在、日本語教師の国家資格化が、文化庁で議論されています。現状「日本語教師」という職業に就くための公的資格と呼べるものはありません、なぜでしょうか。その理由の一つは、「日本語教師」の活動の場が多様であり、統一的な資格や免許といったものを設けることがなかなか簡単ではない、ということが挙げられます。例えば、対価を求めて日本語学校で働くのか、ボランティアとして外国人に関わるのか、海外で活動するのか、国内でなのか、国内で教える場合、対象者が留学生か技能実習生か生活者か、教える場は大学や専門学校か日本語学校か小中学校か企業の研修所か、学習者の年代は年少者なのか大人なのか、学習者のレベルは…、学習者の目的は…などなど、少し考えただけでもこれだけ条件が出てきます。今回は、現在までに議論されてる新資格についてのお話も交えながら、「日本語教育能力検定試験」についてお話します!

日時:2022年11月12日(土)

時間:10時半~12時

実施方法:Zoom(オンライン)

参加費:無料

参加特典:入学金免除!



左のQRコードからも
お申込み可能です

~お申込みはこちら~

✉ ynihongo@ecc.co.jp

☎ 052-339-2977

ECC日本語学院
日本語教師
養成講座